

～令和5年度～

教育に関する事務の管理及び執行の状況の

点検及び評価の結果に関する報告書

(令和4年度事業)

令和5年9月

大口町教育委員会

大口町教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、令和4年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表します。

大口町教育委員会

大口町教育委員会委員名簿

(令和5年9月現在)

教育長	長 屋 孝 成
教育長職務代理者	水 谷 恵 子
委員	鈴 村 由布子
委員	舟 橋 由 治
委員	丹 羽 力 也

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目 次

1	点検評価の目的	1
2	学識経験者の知見の活用	1
3	点検評価の対象	1
4	委員会の経過	1
5	点検評価の方法	2
6	点検評価の対象事業	2
7	点検評価の内容及び意見等	3
	学校教育課	4～27
	学校給食センター	28～31
	生涯学習課	32～49
	生涯学習課(歴史民俗資料館)	50～55
	図書館	56～57
	町史編さん室	58～59

## 1 点検評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされた。このことにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくことを目的としている。

## 2 学識経験者の知見の活用

教育委員会は、点検評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、前年度に実施した事業について、外部評価委員（2人）の意見をもとに点検評価を行う。

外部評価委員	松永 秀視（平成30年度大口町区長会会長）
	松岡 徳雄（社会教育委員・公民館運営審議会委員）

## 3 点検評価の対象

令和4年度に実施した生涯教育部各課の主要な事業を対象とする。

生涯教育部	学校教育課
	学校給食センター
	生涯学習課（歴史民俗資料館含む）
	図書館
	町史編さん室

## 4 委員会の経過

第1回 令和5年7月 6日（木）

委嘱状交付、進め方、質疑応答（学校給食センター、学校教育課）

第2回 令和5年7月12日（水）

質疑応答（図書館、町史編さん室、生涯学習課）

第3回 令和5年7月31日（月）

評価報告

## 5 点検評価の方法

事業ごとに外部評価点検シートを作成し、実施状況について点検・評価を実施する。

- (1) 各課において、事業の目的、内容を明らかにし、令和3年度の事業目標、取組状況、結果（成果）、課題等に基づき点検・評価（自己評価）を行う。
- (2) 評価等の客観性を確保するため、外部評価委員会において、外部評価委員より対象事業の意見や助言（外部評価）をいただく。

## 6 点検評価の対象事業

### 【学校教育課】

- No.1 教育委員会事業
- No.2 学校教育管理事業
- No.3 小学校運営事業
- No.4 小学校施設管理事業
- No.5 小学校整備事業
- No.6 小学校教育振興事業
- No.7 中学校運営事業
- No.8 中学校施設管理事業
- No.9 中学校整備事業
- No.10 中学校教育振興事業
- No.11 社本育英事業
- No.12 こども未来応援事業

### 【給食センター】

- No.13 給食センター運営事業
- No.14 給食センター施設管理事業

### 【生涯学習課】

- No.15 家庭教育推進事業
- No.16 生涯学習活動推進事業
- No.17 生涯学習講座事業
- No.18 中央公民館管理事業
- No.19 町民会館管理事業
- No.20 社会体育振興事業

- No. 2 1 温水プール管理事業
- No. 2 2 グラウンド等管理事業
- No. 2 3 野外活動施設管理事業
- No. 2 4 文化財保護事業
- No. 2 5 歴史民俗資料館運営事業
- No. 2 6 歴史文化教育事業

【図書館】

- No. 2 7 図書館運営事業

【町史編さん室】

- No. 2 8 町史編さん事業

## 7 点検評価の内容及び意見等





令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.1	事業名	教育委員会事業			課名	学校教育課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
1,716,000	1,630,986	0	0	0	0	1,630,986
<b>1.事業目的</b>						
<p>広く地域住民と連携しながら家庭や地域社会の教育力の向上を図り、住民が自由に学びその成果が適切に評価される生涯学習の実現及び、教育の中立性・継続性・安定性を確保する。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会定例会の実施</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>「生涯学習のまちづくり」という広い視点から教育委員会活動を考え、他部局との連携を図っていく。</li> <li>定例会において部内各課所管事業の管理執行状況の報告をより充実させる。</li> <li>委員の意見交換、聴取または、委員との意見交換や協議ができるよう会議の内容について検討を行う。</li> </ul>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会では、令和2年度より作成している「生涯教育部各課からの連絡及び報告事項」により、部内各課所管の事業や執行状況を教育委員に報告することができた。</li> <li>令和3年度までは、コロナの感染拡大防止の観点から、教育委員も参加を自粛する学校行事が多かったが、令和4年度は順次再開し、参加することができた。</li> <li>定例会の中で、教育委員から意見をもらう機会を設け意見交換等を行った。</li> </ul>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会資料用に「生涯教育部各課からの連絡及び報告事項」を作成することで、委員には各課の事業等を適切に伝えることができ、職員側も進捗状況を確認する機会となった。</li> <li>令和4年度は、徐々に学校行事への参加規制が緩和され、教育委員から様々な意見や要望が出てくるようになった。</li> <li>定例会の中で意見交換を行うことで、教員、保護者の視点とは違った意見を聞くことができた。</li> </ul>						
<b>6.事業の課題等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校訪問は、コロナ以降訪問時間が短縮されている。しかしながら、児童生徒、教職員の様子から学級、学校の状況を把握する有効な機会であることから、今後も参加し率直な意見を述べていくことが必要であるとする。</li> </ul>						



評価委員 A(意見等)

- ・コロナの感染拡大防止の観点から教育委員が参加を自粛していた学校行事に、順次参加できるようになってよかった。従来通りの参加状況に戻り、様々な意見や提案がなされることにより、さらなる学校教育の充実を望む。

評価委員 B(意見等)

- ・教育委員会の学校訪問は、児童・生徒・教職員の様子から、学級・学校の状況を把握する機会のため、可能な限り、参加する機会を増やしてもらいたいと思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.2	事業名	学校教育管理事業		課名	学校教育課	
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
237,659,000	231,081,461	34,751,392	0	0	130,790,000	65,540,069
<b>1.事業目的</b>						
<p>学校、家庭、地域社会の連携のもと、開かれた学校づくりと授業改善を目指すとともに、教員の資質向上を図る。</p> <p>確かな学力の定着と豊かな心の育成、また、健康や体力などすべてにおいて調和のとれた子どもを育てるとともに、子ども一人ひとりの個性を伸ばす教育を推進する。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適応指導教室</li> <li>・ 就学時健康診断</li> <li>・ 教職員等健康診断</li> <li>・ 学習活動支援（サポートルームさくら）</li> <li>・ G I G Aスクールタブレット</li> <li>・ I C T支援業務</li> <li>・ 特別支援学校給食費補助</li> <li>・ 学校生活管理指導表作成助成</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学に向けての相談については、保護者、学校、関係機関と連携を取りながら進めていく。</li> <li>・ 児童生徒の個々の特性に合わせた指導や学習環境を提供できるよう適応指導教室事業の拡充及び移転を行い児童生徒のフォローアップを進める。</li> <li>・ S S Wの学校巡回では、適応指導教室の指導員と一緒にいき、児童生徒の様子を観察しながら、家庭への接し方や、教員へのアドバイスをいき、個々の問題に対応していき。あわせて、学校、適応指導教室、S S W、福祉分野などの関係機関と調整し、それぞれのノウハウを生かしながら問題解決につなげていき。</li> <li>・ 学校パソコン等の更新により、機器設定を行うが、複雑化する学校内のI C T関係において、教員、児童生徒と区別した機器設定を進めていき。</li> </ul>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学相談を実施していきにあたり、5月に町内保育園の園長会に参加し入学に向けてのスケジュールや学校・学級の種類等（特別支援学校、特別支援学級、通級、通常学級）についての説明などを行った。また、就学相談への早期参加について保護者へ案内してもらうよう依頼した。</li> <li>・ 適応指導教室は指導員を2名から3名に増員した。事業拡充のため、ふれあいの森管理棟2階を改修し、令和5年1月に健康文化センター2階からふれあいの森に移動し開設した。</li> <li>・ S S Wが令和4年度当初は欠員だったため採用活動をし、11月から会計年度任用職員として採用した。学校の状況を確認しながら巡回の頻度や関わり方を検討し、1月より徐々に学校への巡回をスタートした。</li> <li>・ サポートルームさくらは、コロナ休止前に携わっていただいていた教員OBの方、学生ボランティアの方に協力いただき、令和4年7月から再開することができた。11名が登録し、毎週水曜日の午後6時～8時まで自主学習に取り組んだ。</li> <li>・ タブレット利用について、I C T支援員へ委託をいき、各学校年間80回(1回3.5時間程度使い方の支援を行った。</li> <li>・ 教職員のパソコン・学校サーバーを更新した。</li> <li>・ 昨年度に引き続きWi-Fiルーターの貸出しを行った。(57台)</li> <li>・ 特別支援学校給食費は、4名(小学部3名、中学部1名)に補助を行った。</li> <li>・ 学校生活管理指導表については、20件、24,090円の助成を行った。</li> </ul>						

<p>5.事業の結果(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内保育園の園長会で説明や早期の参加を依頼したことで、園と連絡調整し就学相談がスムーズに進み、適正な就学につなげることができた。</li> <li>・適応指導教室をふれあいの森管理棟2階に移設し、以前より教室が広くなったことや指導員が増えたことにより、児童生徒の受入体制が整った。</li> <li>・SSWの欠員状況が続いたため、令和5年度より本格的に巡回できるよう準備ができた。また正職員として採用することもできた。</li> <li>・教職員のパソコンの更新については、令和4年1月の補正予算で対応したことにより、8月までに教職員のパソコンを配置し、スムーズに移行することができた。</li> </ul>
<p>6.事業の課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校ともタブレット導入から2年が経ち、使い方についてICT支援員のサポートを受けながら浸透してきている。令和5年度は支援員の委託時間を約半分に減らし、将来的に学校内で自立してタブレットを使用した授業を進めていけるようにする。</li> </ul>
<p>評価委員 A(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適応指導教室の指導員が増員されたことで、今まで以上に個に寄り添った支援が期待できる。また教室が広くなったことで、様々な活動を工夫する可能性が広がると思う。</li> <li>・SSWの欠員状態が解消されたのはよかった。専門的な知識をもとに、個々の生徒が抱える問題に適切に対応できるように、教員との連携を深めていくことが大切である。</li> <li>・タブレットの活用は有効な手立てであるが、それを使いこなすにはそれなりの技術がいる。ICT支援員の委託時間が半減するということが、学校内で自立してタブレットを活用した授業が進められるよう行政としても支援を続けていただきたい。</li> </ul>
<p>評価委員 B(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット、スマホ使用上の注意についての講習を頻繁にやっていただきたいと思います。「安全な使用方法講習会」を児童・生徒・保護者と一緒に講習する機会を設け、犯罪等に巻き込まれないよう、安全に使用できるようにしていただきたいと思います。</li> <li>・適応指導教室--ふれあいの森管理棟 2F--児童・生徒の受け入れ体制ができたことは良い事だと思いました。</li> <li>・SSWが欠員だったのが、会計年度任用職員として採用でき、徐々に学校へ巡回スタートできた事は良かったと思います。</li> </ul>

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.3	事業名	小学校運営事業			課名	学校教育課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
109,481,000	105,445,126	1,563,000	0	0	0	103,882,126
<b>1.事業目的</b>						
<p>学校・家庭・地域社会の連携のもと、開かれた学校づくりや授業力向上をめざした教員の資質向上を図り、学校教育の目的を達成するために、適切かつ効果的に教育事務を推進する。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育調査、統計、広報等</li> <li>• 各種検査・テスト</li> <li>• 英語指導助手講師派遣</li> <li>• 教科書、教材購入</li> <li>• 芸術鑑賞会</li> <li>• 児童の健康診断</li> <li>• スクールバス運行</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各学校において、これまでの実践で得た成果、課題等をもとに学校経営案を策定し、コロナ禍ではあるが、各学校の特色を活かした、地域に根ざした学校づくりとして、独自の教育活動の充実を更に図る。また、令和3年度に導入したタブレットを活用した教育活動を行っていく。</li> <li>• 学校支援員を1年生の学級数+1名を配置し、個別事情を抱えた児童への配慮や、円滑な学級運営に対応できるよう引き続き実施する。令和4年度より北小、西小にも看護師兼学校支援員を配置し、医療的ケア児への対応をしていく。</li> </ul>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 令和4年度は令和3年度に引き続きコロナの感染状況を見ながら教育活動等を行った。学校行事については、学校により、規模を縮小したり、時間差を設ける、来校人数を制限したりするなど感染予防に努めながら実施した。</li> <li>• 令和3年度より導入したタブレットを活用し、教育活動を行った。</li> <li>• 学校支援員については、令和4年度より北小、西小にも看護師兼学校支援員を配置した。年度当初は、各学校の1年生の学級数+1名を配置し、学級運営のサポートを当たった。</li> <li>• 令和3年度より引き続きICT支援員を委託し、教員に対するタブレットの活用の仕方を中心に支援を行った。</li> <li>• 令和3、4年度中に故障した端末の入れ替えのため、60台程度の修理・補充を行った。</li> </ul>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校行事については、コロナ禍であっても、感染症対策を講じ、開催方法を工夫しながら実施することができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>儀式 入学式（来賓出席なし） 卒業式（来賓一部出席）</li> <li>運動会 保護者のみ参加（来賓出席なし）、授業参観・発表会 全校実施</li> <li>修学旅行 全校実施</li> <li>水泳指導 再開</li> <li>給食 前向きで黙食</li> </ul> </li> <li>• 支援が必要な児童は増加しており、学校支援員を配置することで、個別の事情を抱えた児童への対応や、学級運営に柔軟に対応することができた。平成31年度より、医療的ケア児に対応する看護師を南小に看</li> </ul>						

護師兼学校支援員という立場で配置しているが、令和4年度は北小、西小にも配置し、西小の医療的ケア児への対応に当たった。北小には現在医療的ケア児は在籍していないが、令和5年度からは定期的に看護師の打合せ会を開催し、情報交換を行う体制が整った。

#### 6.事業の課題等

- 令和5年度は、コロナ前に戻す中で多忙化解消等現状の課題を踏まえ、実施方法を考えてく必要がある。
- 一人一台端末を導入したことにより、情報漏洩・個人情報等セキュリティ上のリスクが増えている。リスクを減らすための指針であるセキュリティーポリシーの整備が十分に備わっていないため改訂作業が必要となる。
- タブレット導入より2年が過ぎ故障する端末が増えている。タブレットの寿命が3～5年程度ということを見ると令和7年度頃までには現在使用しているタブレットの入れ替えの必要が生じる見込みである。

#### 評価委員 A(意見等)

- 学校支援員の配置や看護師兼学校支援員の配置は、個別の事情を抱えた児童に対する支援を考えると、学校現場にとってとてもありがたい施策である。こうした人的支援が少しでも有効に機能するよう工夫していくことが必要である。
- タブレットが3～5年の寿命ということを見ると、そのコストはかなりのものになる。それに見合う有効な活用方法を今後も検討していただきたい。
- タブレット導入によるセキュリティーリスクについては、喫緊の課題だと思う。早急かつ確実な対応が必要だと考える。

#### 評価委員 B(意見等)

- タブレット-情報の漏洩・セキュリティーのリスク-セキュリティーポリシーの整備、改訂作業を早急に進めて頂きたいです。
- コロナ禍でも、各種行事の実施を工夫しながら、どしどし進めてもらいたいです。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.4	事業名	小学校施設管理事業			課名	学校教育課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
62,908,000	58,605,517	0	0	0	140,140	58,465,377
<b>1.事業目的</b>						
児童が学習の場として一日の大半を過ごす学校施設を安全で安心な場所であるよう、学校施設の維持管理、整備を行う。						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理</li> <li>教具、その他の設備の修繕</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>大口南小学校、大口北小学校については、計画している修繕を行いながら、施設の管理に努める。</li> <li>大口西小学校においては、小学校整備事業において、令和4年度より引き続き長寿命化改修を継続。令和5年9月までを工期とする。</li> </ul>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>当初の計画に沿って修繕を行った。</li> <li>※西小については長寿命化改修工事を令和4年5月～令和5年9月まで継続して行っているため、軽微な修繕も含め工事内にて対応を行った。</li> </ul> <p>【南小の主要な修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教室に設置しているプロジェクターについてランプの寿命が来ていた機器について取替修繕</li> <li>中庭について、ウッドデッキへの鳥の糞害が発生していたため、鳥が侵入しないよう防鳥ネットを取り付ける修繕</li> </ul> <p>【北小の主要な修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体育館の東側ギャラリーにて、大雨が降るたびに問題となっていた雨漏りを改善するため東側窓のコーキング修繕</li> <li>全小学校にてプール清掃を外部委託した。</li> </ul>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>突発的な修繕には適切に対応しながら修繕を行った。</li> <li>プール清掃は外部委託により、概ねプール休止前の状態に戻り授業を再開することができた。来年度以降は毎年プール授業を行う予定であるため、外部委託を行わず、学校にてプール清掃を行う予定。</li> </ul>						
<b>6.事業の課題等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>南小、北小については、建築・改築から10年以上経過し、修繕要望も増加傾向にある。今後も計画的な修繕と定期的な消耗品等の交換により、維持管理を行っていく必要がある。</li> <li>蛍光灯の生産が終了することに伴う校舎・屋内運動場のLED化について南小学校・北小学校はまだ対応ができていないため、早期に着手していく必要がある。</li> </ul>						

評価委員 A(意見等)

- コロナで中断していたプールの使用を再開するに当たって、プール清掃を外部委託したのは、教員や児童生徒の負担や衛生面を考えるとよい判断だったと思う。
- 学校の施設設備の修繕は予算を伴うものなので優先順位もあると思うが、安全に関わる問題には可能な限り今後も速やかに対処してほしい。

評価委員 B(意見等)

- 突発的、緊急な工事を優先していただきたい。
- 今後、毎年プール授業を計画すること、プール掃除は学校で清掃が望ましい。
- 蛍光灯の生産中止に伴い、早期にLEDへの交換実施していただきたい。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.5	事業名	小学校整備事業		課名	学校教育課	
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
1,636,712,000	916,120,138	187,622,000	0	0	719,887,000	8,611,138
<b>1.事業目的</b>						
児童が学習の場として一日の大半を過ごす学校施設を安全で安心な場所とするため、整備する。						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設整備</li> <li>教具、その他施設整備</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>西小学校について、令和3年度中に実施設計が完了し、令和4年度6月より着工した。令和5年9月まで工事を行う予定である。</li> </ul>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>西小学校長寿命化工事は、令和4年度末の出来高は66.536%である。</li> </ul>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>西小学校長寿命化工事は、令和4年度末で6%程度の遅れが生じている。なお、工事は令和5年8月末の完了予定であり、その期限は変更せず、児童の学校生活に影響が出ないように進めている。</li> </ul>						
<b>6.事業の課題等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎の長寿命化工事が完了した後に、水はけや、遊具が少ないといった西小運動場の問題について対処していく。</li> </ul>						
<b>評価委員 A(意見等)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が学校生活を送る中で工事を進めるのはいろいろと制約があり大変だとは思いますが、児童の教育活動や学校生活に支障がないよう進めることが大切である。</li> </ul>						
<b>評価委員 B(意見等)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>西小学校の長寿命化工事が遅れているということ、令和5年8月までに完了し、学校生活に影響が出ないようにしてほしいものです。</li> <li>水はけ他の問題も早急に対処していただきたいです。</li> </ul>						



令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.6	事業名	小学校教育振興事業			課名	学校教育課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
9,323,000	8,997,939	274,500	0	0	0	8,723,439
<b>1.事業目的</b>						
<p>学校教育は、地方分権型社会への移行とそれに伴う規制緩和の中で、生涯学習の基礎を築く場としての使命を負っているが、本事業により、学校教育の充実に必要な教材、備品等を整備し教育の振興を図ることを目的とする。また、義務教育の円滑な実施と特別支援教育の振興に資することを目的とする。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本、教材、備品の購入</li> <li>・児童の就学のための援助</li> <li>・クラブ活動への援助</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の計画に準じ、備品の更新を行う。</li> <li>・児童の就学のための援助、特別支援教育就学奨励については、教育振興と保護者の負担軽減の観点から、継続実施する。</li> </ul>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本、備品については、教育振興と保護者負担軽減の観点から、適切に購入を行った。</li> <li>・義務教育の円滑な実施と特別支援教育の振興に資することを目的とし、経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者や特別支援学級に在籍する保護者の経済的負担の軽減を図るため必要な援助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●就学援助の援助費目：学用品費・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費（新入学準備金）、給食費、PTA会費、卒業アルバム代</li> <li>※学校給食費については、平成22年度より保護者が負担すべき給食費の半額負担を行っている。</li> <li>●特別支援就学奨励費の援助費目：学用品費・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費、給食費</li> </ul> </li> </ul>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助の認定者数 125名</li> <li>・特別支援奨励費の認定者数 25名</li> <li>・収入急減による就学援助の申請者 0名</li> <li>・新入学児童生徒学用品費等については、小学校に入学する児童の前年度に支給が可能（新入学準備金）となっており、3名の申請を受け認定をした。</li> </ul>						
<b>6.事業の課題等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品については、劣化しているものも多く、計画的な修繕、購入が必要である。</li> <li>・就学援助は、チラシ等を活用し制度について周知し、学校と連携しながら対象者の把握に努めていく。</li> </ul>						

評価委員 A(意見等)

- 教材や備品については、教育活動に欠かせないものなので、各学校との情報交換をしっかりと行い、効果的な購入を進めていただきたい。
- 就学援助については、必要なところへ必要な支援が届くように広報活動とともに情報収集に努めてほしい。

評価委員 B(意見等)

- 副読本・備品購入は、保護者負担軽減の為、継続してもらいたい。
- 義務教育の円滑な実施を目的とし、保護者の経済的負担の軽減のため、援助を行っていきたいです。〈就学援助費・特別支援就学奨励費〉

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.7	事業名	中学校運営事業			課名	学校教育課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
46,508,000	44,813,763	35,000	0	0	0	44,778,763
<b>1.事業目的</b>						
<p>学校・家庭・地域社会の連携のもと、開かれた学校づくりや授業改善をめざした教員の資質向上を図り、学校教育の目的を達成するために、適切かつ効果的に教育事務を推進する。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育調査、統計、広報等</li> <li>・各種検査・テスト</li> <li>・教科書、教材購入</li> <li>・芸術鑑賞会</li> <li>・生徒の健康診断</li> <li>・英語指導助手講師派遣</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの実践で得た成果、課題等をもとに学校経営案を策定し、コロナ禍ではあるが、地域に根ざした学校づくりとして、独自の教育活動の充実を更に図る。</li> <li>・令和3年度から導入されたタブレットを活用できるよう様々な面から活用し、生徒の育成を図る。</li> </ul>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は令和3年度に引き続きコロナの感染状況を見ながら教育活動等を行った。活動によって、規模を縮小したり、時間差を設ける、来校人数を制限したりするなど感染予防に努めながら実施した。</li> <li>・令和3年度より導入したタブレットを活用し、教育活動を行った。</li> <li>・令和3年度より引き続きICT支援員を委託し、教員に対するタブレットの活用の仕方を中心に支援を行った。</li> <li>・令和3、4年度中に故障した端末の入れ替えのため、60台程度の修理・補充を行った。</li> </ul>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事については、コロナ禍であっても、感染症対策を講じ、開催方法を工夫しながら実施することができた。</li> <li>    儀式    入学式（来賓出席なし）    卒業式（来賓一部出席）</li> <li>    体育大会、合唱コンクール    保護者のみ人数を制限（来賓出席なし）</li> <li>    修学旅行    令和2年度より東京から松江市へコロナ感染状況を鑑みて変更</li> <li>    給食    前向きで黙食</li> <li>    部活動    通常どおり実施</li> <li>    教科別の教室移動（特別教室利用教科以外）は令和2年度から引き続き中止</li> </ul>						
<b>6.事業の課題等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は、コロナ前に戻す中で多忙化解消等現状の課題を踏まえ、実施方法を考えてく必要がある。</li> <li>・一人一台端末を導入したことにより、情報漏洩・個人情報等セキュリティ上のリスクが増えている。リスクを減らすための指針であるセキュリティーポリシーの整備が十分に備わっていないため改訂作業が必要となる。</li> <li>・タブレット導入より2年が過ぎ故障する端末が増えている。タブレットの寿命が3～5年程度ということを見ると令和7年度頃までには現在使用しているタブレットの入れ替えの必要が生じる見込みである。</li> </ul>						

評価委員 A(意見等)

- 行事のあり方をコロナ前に戻す過程で、様々な問題を考慮し、新たによりよい方法を見つけていくことができる。その意味ではよい機会である。
- タブレットが3～5年の寿命ということを考えると、そのコストはかなりのものになる。それに見合う有効な活用方法を今後も検討していただきたい。
- タブレット導入によるセキュリティーリスクについては、喫緊の課題だと思う。早急かつ確実な対応が必要だと考える。

評価委員 B(意見等)

- 令和5年度は、次第にコロナ前に戻していく努力をする。多忙化解消等現状の課題を踏まえ実施方法を検討して頂きたい。
- タブレット-情報漏洩・個人情報・セキュリティー強化を早急に対策してほしい。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.8	事業名	中学校施設管理事業			課名	学校教育課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
48,572,000	45,111,573	0	0	0	0	45,111,573
1.事業目的						
生徒が学習の場として一日の大半を過ごす学校施設が安全で安心な場所であるよう、学校施設の維持管理、整備を行う。						
2.事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設の維持管理</li> <li>教具、その他設備の修繕</li> </ul>						
3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>校内放送機器設備修繕</li> <li>三階トップライト、ランチルーム排煙窓等修繕</li> <li>すべり窓修繕（7教室予定）修繕</li> </ul>						
4.令和4年度の取り組み(事業実績)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>当初の計画どおり、放送設備の修繕・ランチルーム東排煙窓、廊下トップライト廻りの雨漏り修繕、すべり窓修繕を行った。</li> <li>突発的な修繕には適切に対応しながら修繕を行った。 ⇒体育館電気修繕、電話交換機の修繕等</li> </ul>						
5.事業の結果(成果)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画に沿って維持管理・整備を行いながら、学校施設の安全確保に努めた結果、ハード面で大きな不具合は発生しなかった。</li> </ul>						
6.事業の課題等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>蛍光灯の生産が終了することに伴う校舎、屋内運動場のLED化ができていないため、小学校の施設とともに早期に着手する必要がある。</li> </ul>						
評価委員 A(意見等)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画に従い、適切に維持管理・修繕等が行われているようで安心である。今後も適切に進めていただきたい。</li> </ul>						
評価委員 B(意見等)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校、施設の安全対策は重要なので早急に対策してもらいたい。</li> <li>LED化されていない施設は、早急に変更してもらいたい。</li> </ul>						

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.9	事業名	中学校整備事業			課名	学校教育課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
97,426,000	97,396,000	0	0	0	1,210,000	96,186,000
1.事業目的						
生徒が学習の場として一日の大半を過ごす学校施設を安全で安心な場所とするため、整備する。						
2.事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設整備</li> <li>教具、その他施設整備</li> </ul>						
3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>木製ルーバーの塗り替え等メンテナンスを実施する。</li> <li>令和3年度、駐輪場の設計段階で判明した中学校建設当時の確認申請手続きの不備是正を早急に行い、駐輪場の建設を進める。</li> <li>中学校内で一部借地であった土地を購入する。</li> </ul>						
4.令和4年度の取り組み(事業実績)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年9月に木製ルーバーの塗装工事が完了した。塗装に加え、ボルト・ナットの緩んでいる部分について締め直しを行った。</li> <li>令和5年2月に駐輪場新築工事が完了した。</li> <li>中学校の借地は、令和4年6月28日に取得し、令和4年7月1日に登記を終えた。これにより、借地はなくなった。</li> </ul>						
5.事業の結果(成果)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場の工事により、新たに280台程度の駐輪場所を確保することができた。</li> </ul>						
6.事業の課題等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>木製ルーバーについて今回は北側の塗装であったが、いくつかのルーバーでボルト部分の腐食があった。次回は南西面が令和8年に塗装工事の予定であるが直射日光が当たる方向であるため今回施工部分よりも腐食が多くみられる可能性が高い。将来的にルーバーの取り換えや素材の変更など大規模な修繕を想定する必要がある。</li> </ul>						

評価委員 A(意見等)

- 木製ルーバーについて修繕の必要性が指摘されているが、生徒の安全にかかわることは早急に対応をお願いしたい。

評価委員 B(意見等)

- 木製ルーバーの塗装・ボルトのゆるみの増し締め工事、安全第一の為、しっかりやってもらいたい。  
『ボルト増し締め-緩まない工法もあるので、検討する』
- 駐輪場の確認申請不備の是正ができ、280台分の収容ができたことは良かったと思う。
- 借地が購入できたことは、良かったと思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.10	事業名	中学校教育振興事業			課名	学校教育課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
16,167,000	14,963,907	1,211,500	0	0	0	13,752,407
<b>1.事業目的</b>						
<p>学校教育は、地方分権型社会への移行とそれに伴う規制緩和の中で、生涯学習の基礎を築く場としての使命を負っているが、本事業により、学校教育の充実に必要な教材、備品等を整備し教育の振興を図ることを目的とする。また、義務教育の円滑な実施と特別支援教育の振興に資することを目的とする。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本、教材、備品の購入</li> <li>・生徒の就学のための援助</li> <li>・クラブ活動への援助</li> <li>・部活動の外部委託</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の計画に準じ、備品の更新を行う。</li> <li>・生徒の就学のための援助、特別支援教育就学奨励については、教育振興と保護者の負担軽減の観点から、継続実施する。</li> <li>・部活動の外部委託については、2年目になることから、ウィル大ロススポーツクラブ、学校と調整しながら進めていく。</li> </ul>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本、備品については、教育振興と保護者負担軽減の観点から、適切に購入を行った。</li> <li>・義務教育の円滑な実施と特別支援教育の振興に資することを目的とし、経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者や特別支援学級に在籍する保護者の経済的負担の軽減を図るため必要な援助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●就学援助の援助費目：学用品費・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費（新入学準備金）、給食費、PTA会費、生徒会費、卒業アルバム代</li> <li>※学校給食費については、平成22年度より保護者が負担すべき給食費の半額負担を行っている。</li> <li>●特別支援就学奨励費の援助費目：学用品費・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費、給食費</li> </ul> </li> <li>・一部の部活動については、引き続きウィル大ロススポーツクラブに委託した。</li> </ul>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助の認定者数 60名</li> <li>・特別支援奨励費の認定者数 4名</li> <li>・収入急減による就学援助の申請者数 0名</li> <li>・新入学児童生徒学用品費等については、中学校に入学する生徒の前年度に支給が可能（新入学準備金）となっており、18名の申請を受け認定をした。</li> <li>・部活動の外部委託では、令和3年度の種目（水泳、サッカー、バレー）に、令和4年度から、陸上、バスケットの2種目を追加した。専門的な指導を受けられるという点で、保護者や生徒は好意的に捉えている。また、担当部活の指導経験がない教師の不安解消、教員の働き方に対する点においても効果は見られている。</li> </ul>						



## 6.事業の課題等

- 備品については、劣化しているものも多く、計画的な修繕、購入が必要である。
- 就学援助は、チラシ等を活用し、制度について周知し、学校と連携しながら対象者の把握に努めていく。

## 評価委員 A(意見等)

- 部活動の外部委託については、保護者や生徒及び教員にも好意的にとらえられているようで、基本的にはよいことだと考えられる。今後も部活動のもつ意義を考えて多方面から検討をし、適切な方法で進めてほしい。
- 教材や備品については、教育活動に欠かせないものなので、各学校との情報交換をしっかりと行い、効果的な購入を進めていただきたい。
- 就学援助については、必要なところへ必要な支援が届くように広報活動とともに情報収集に努めてほしい。

## 評価委員 B(意見等)

- 保護者の負担の軽減-就学の援助・特別支援教育就学奨励費の援助は継続していただきたい。
- 学校給食費-保護者負担の給食費の半額負担は続けて行ってほしい。
- 部活動は、社会へ出てから、重要な活動の為、外部委託は良い事だと思われるし、技術的にも、経験の少ない、教師の不安解消にもなるので良いのではないかと思う。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.11	事業名	社本育英事業			課名	学校教育課	
予算額	決算額	左の財源内訳					
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源	
7,841,000	7,809,428	0	0	7,808,618	810	0	
<b>1.事業目的</b>							
<p>大口町名誉町民故社本鋭郎氏のご遺族からの寄付金で基金を設け、昭和57年より、町立中学校に在学し、高等学校等へ進学を希望する生徒の中から奨励金あるいは奨学金を交付する事で、生徒が将来、社会の一線で活躍されるよう支援する。また、児童生徒が校外活動を通して歴史・文化・芸術などに対して幅広い興味、見識を身につけ、様々な体験を重ね健やかな成長に寄与することを目的とする。</p>							
<b>2.事業内容</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>奨励金候補者の推薦及び決定</li> <li>奨学金の申請</li> <li>奨学生の決定</li> <li>奨励金、奨学金の交付</li> <li>校外活動への支援（計画変更、キャンセル分を含む）</li> </ul>							
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>奨学金については、令和2年度に事業を見直し、成績要件をなくした。高等学校等へ入学する際に必要な支度金に充てられるよう支給することで、進学先の選択肢が広がることを期待しているため、漏れなく申請をいただくよう周知する。</li> <li>松江市で計画されている中学校の校外活動の事業費に助成を行い、姉妹都市松江市との交流を通し歴史文化教育を図る。</li> <li>児童を対象とする歴史文化教育の一環として、松江サマースクールを実施する。姉妹都市松江を訪問し、歴史文化交流を図る。</li> </ul>							
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の理事会において、奨励金6名、奨学金14名の計20名（令和5年度支給者）を社本育英事業の奨励金・奨学金の対象者として決定した。</li> <li>8月25日（木）～26日（金）の1泊2日で松江サマースクールを実施した。姉妹都市松江を訪問し、郷土出身の武将、堀尾吉晴が築いた松江城の見学や地元の伝統工芸の体験を行った。町内小学校6年生15名が参加した。</li> <li>12月には、松江市の小学校6年生19名を大口町に迎え、歴史民俗資料館の見学、堀尾跡公園周辺の散策、豊田学習等利用施設にて町長との昼食会を開催した。</li> </ul>							
<b>5.事業の結果(成果)</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>奨励金は、7名に支給した。</li> <li>奨学金は、令和3年度の決定者17名と、令和元年度決定者1名、合計18名に支給した。</li> <li>松江サマースクールの実施は、姉妹都市交流事業の一環として交流を担う次世代を育成し、持続的な交流へと繋げる第一歩となった。</li> </ul>							
<b>6.事業の課題等</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>松江サマースクールでは、来年度以降、松江市児童との交流を計画していきたい。</li> </ul>							

評価委員 A(意見等)

- 松江サマースクールで松江を訪問し、郷土出身の武将堀尾吉晴が築いた松江城の見学等を通して郷土大口と松江との関係を学ぶことにより、郷土の歴史について興味を深める機会になると思う。松江市の小学生を大口町に招くことと合わせて今後も継続していただきたい。
- 奨励金や奨学金の対象者数や金額については、どのくらいが適当なのかはよく分からないが、今後も理事会でよく検討され、適切に運用されることを願う。

評価委員 B(意見等)

- 奨学金-成績要件を失くしたということは、良い事だと思います。
- 松江市との姉妹都市交流「松江サマースクール」について
  - \*児童生徒の郷土愛を育むために行っていただきたい。
  - \*郷土の歴史、郷土の偉人を知り、文化に触れてもらいたい。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.12	事業名	こども未来応援事業			課名	学校教育課												
予算額	決算額	左の財源内訳																
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源												
4,044,000	4,034,765	0	0	4,033,732	1,033	0												
1.事業目的																		
町への寄付金と一般会計からの繰入金を財源とし、こどもたちの成長段階に応じた支援を行うことで、人材を育成することを目的とする。																		
2.事業内容																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>私立高等学校等授業料補助金</li> <li>高等学校等通学費助成</li> <li>奨学金返還支援</li> <li>次世代育成活動奨励事業</li> </ul>																		
3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>奨学金返還支援事業については、新規の対象者が絞り切れない状況ではあるが、町の事業を活用しながら募集を行い、継続の対象者（2.3年目の申請者）については、申請漏れのないよう案内を行う。</li> <li>私立高等学校等授業料補助金については、国、県の動向を注視しながら助成を行っていく。</li> <li>次世代育成活動奨励事業は、令和3年度が初年度であり、令和4年度も引き続き応援をしていく。</li> </ul>																		
4.令和4年度の取り組み(事業実績)																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>各助成制度について、制度を周知し支援を行った。</li> <li>次世代育成活動奨励事業の対象者については、助成金の支払いとともに、広報おおぐちで紹介し活動内容等を周知し応援した。</li> </ul>																		
5.事業の結果(成果)																		
<table border="0"> <tr> <td>私立高等学校等授業料補助</td> <td>41名</td> <td>762,000円</td> </tr> <tr> <td>奨学金返還支援事業</td> <td>46名</td> <td>460,000円</td> </tr> <tr> <td>高等学校等通学費助成</td> <td>107名</td> <td>2,751,914円</td> </tr> <tr> <td>次世代育成活動奨励事業</td> <td>5名</td> <td>50,000円</td> </tr> </table>							私立高等学校等授業料補助	41名	762,000円	奨学金返還支援事業	46名	460,000円	高等学校等通学費助成	107名	2,751,914円	次世代育成活動奨励事業	5名	50,000円
私立高等学校等授業料補助	41名	762,000円																
奨学金返還支援事業	46名	460,000円																
高等学校等通学費助成	107名	2,751,914円																
次世代育成活動奨励事業	5名	50,000円																
6.事業の課題等																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>私立高等学校等授業料補助については、通信制高等学校への進学者が一定数いることから補助対象に追加することを検討していく。</li> <li>高等学校等通学費助成については、助成開始から3年が経過し、助成額の上限額を見直すとともに、新たな就学支援制度を検討する。</li> </ul>																		

評価委員 A(意見等)

- 金銭的な理由で十分な教育が受けられないということがないように、可能な支援を今後も継続していただきたい。
- 次世代育成活動奨励事業は、次代を担う若者の成長を少しでも手助け・応援するためのよい施策だと思う。内容によっては金額を増やしてもよいのでは、とも考える。

評価委員 B(意見等)

- 財政難の若者の奨学金返還の支援は大変有意義な事である。
- 次世代育成活動奨励事業もどしどし進めたいものである。
- 私立高校の授業料の補助—通信制高校への補助追加は大変意義があることだと思います、働きながら学んでいる若者を補助するということは大変良い事だと思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.13	事業名	給食センター運営事業			課名	学校給食センター	
予算額	決算額	左の財源内訳					
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源	
152,659,000	149,040,336	865,421	0	0	62,664,935	85,509,980	
<b>1.事業目的</b>							
<p>学校給食で児童・生徒が、日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うことができるよう、また、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育ていける基礎をつくる。</p>							
<b>2.事業内容</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材の調達</li> <li>・給食の調理</li> <li>・配送、回収</li> <li>・食器等の洗浄</li> </ul>							
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>							
<p>日常業務の調理及び配送等の業務は、本年度も直営で行っていくが、正規の調理員が定年で1人になると調理業務に支障をきたすので、安定的な運営のため2人以上の正規職員の採用について政策推進課と協議をする。なお、配送等の業務については、配送車2台を平成15年3月に購入してから19年が経過しているので購入又はリースを検討する、</p> <p>残菜量の問題は、引き続き学校と連携して、少しでも減らすように取り組む。</p> <p>学校給食における地産地消の推進は、新たな地場産物の提供がえられるよう農業生産団体と調整を図る。</p> <p>学校給食栄養報告の充足率を国が示した学校給食摂取基準を充たすために、鉄分強化食品（デザート類・ふりかけ）や食物繊維を補う食品（海藻類・果物・イモ類）を1年間の給食で計画的に使用する。</p> <p>コロナウイルス感染症拡大防止のため、給食のパンについては、すべて個食包装で提供する。また、りんご、柿、梨等のデザート類についてもできるだけ個食包装で提供する。新たな目標として、世界的な食糧不足による、物価上昇について、様々な工夫をして給食の質、量の確保を保てるよう努力をする。</p>							
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>							
<p>正規の調理員について、令和5年4月に3人の正規職員の採用をした。</p> <p>配送車については、従来のガソリン車ではなく、電気自動車について、検討をしたが未だ、発売がされていないので、次年度以降購入又はリースを検討する、</p> <p>コロナウイルス感染症拡大防止のため、給食のパンについては、すべて個食包装で提供した。また、りんご、柿、梨等のデザート類についても個食包装で提供した。</p> <p>食材等の物価高騰に対して、物資選定や献立の工夫をして給食費等で質、量の確保を保てることができた。</p>							
<b>5.事業の結果(成果)</b>							
<p>学校給食に使用した地場産物は、4品目（大豆、小松菜、ブロッコリー、キャベツ）であった。</p> <p>パンの個別包装とデザートの果物（りんご、柿、キンカン、スイカ等）もできる限り個別包装にしてコロナウイルス感染症の防止に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、令和4年4月に行った値上げ分、小学校10円、中学校12円を1年間保護者へ補助することにより物価高騰対策を行った。</p>							

## 6.事業の課題等

今後も続く食材価格の高騰に対し、給食費内で質、量を保つことが課題である。

### 評価委員 A(意見等)

- 新たに3人の正規職員が採用になり、調理業務の安定的な運用のためによかった。
- コロナウイルス感染症拡大防止のために、パンや果物類も個食包装にするなど通常業務以上に気を遣うことが多く大変お世話をかけたことと感謝している。
- 最近の物価高騰に対して、給食の質と量を確保するために物資選定や献立の工夫をさせていただいているが、果たしてそれだけで対応できるのか難しいと思う。公費援助や給食費の直上げもやむを得ないとする。

### 評価委員 B(意見等)

- コロナにより、パンその他の個別包装は大変良い事だと思います。
- 地場産物をもっと多品種にわたり使用していただきたいと思います。
- 正規調理員が採用でき、調理業務の支障が無くなり、よかったです。
- 食材価格の急騰に対し、工夫により質量の確保ができるのかが心配です、さらなる、補助が必要になるのではないかと思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.14	事業名	給食センター施設管理事業			課名	学校給食センター
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
46,862,000	46,353,803	0	0	0	0	46,353,803
<b>1.事業目的</b>						
<p>安心・安全な学校給食が提供できるよう、施設の維持管理を行うこと。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費の管理</li> <li>・施設、設備機器の修繕</li> <li>・保守点検、清掃等の業務委託</li> <li>・備品の維持管理</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>衛生管理の基準が年々強化されてきたが、施設・設備面で、これに十分な対応ができないところがある。また、定期的に施設及び厨房機器の保守点検、清掃等を実施してきたが、施設及び厨房機器の老朽化は否めない。</p> <p>突発的な機器の不具合で給食が滞ることにならないよう、設備・機器管理の徹底を図る必要がある。また、学校給食センター改修構想に基づき衛生管理基準にできるだけ適合できるようにすると共に、適切な時期に設備・機器の更新ができるように計画的な改修工事を行う。</p> <p>給食センターの調理室と洗浄室にエアコンが設置されていないため、暑さ対策を行う必要がある。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<p>昨年度作成した改修工事の基本設計を基に、改修工事を進めるか、新施設建設にするか問題点を洗い出し、協議し、着手目標年度を令和6年度からとし、早期に安定運営ができるようにする。</p>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<p>給食センター備品として、二重食缶10個を購入した。</p> <p>改修工事を進めるにあたり、7月から12月までの約半年間、給食製造業者へ給食の調理委託が可能であるか問い合わせをしたが、委託業者を見つけることができなかった。</p> <p>設備、調理器具の不良個所の早期発見、修繕をし、給食提供ができた。</p>						



## 6.事業の課題等

改修工事については、半年間給食提供を中止して改修工事を行うことができれば、新築よりも費用を抑えることができるが、給食提供中止せずに3カ年の夏休み期間で改修工事を行うと新築と同じ程度の工事費になる。約半年間の工事期間中に給食を提供できる業者を見つけることができなかったため、改修工事を断念した。

次年度以降、学校給食センターの新築に向けて、施設整備計画、建設候補地選定を行うことになる。

## 評価委員 A(意見等)

- ・給食センターの調理室と洗浄室にエアコンが設置されていないことは、近年の猛烈な暑さを考えると緊急に対策を考える必要がある。
- ・給食センターは改修ではなく新築することに決まったようだが、児童生徒の食を支える大切な施設なので、安心安全な給食、そして働きやすい環境を整えるために、早期の候補地選定、施設整備計画を進めていただきたい。

## 評価委員 B(意見等)

- ・施設・厨房機器の老朽化の更新は必要だと思います。
- ・調理室・洗浄室のエアコンは必要だと思います。
- ・改修工事、7～12月の半年間、給食製造者への調理委託を、継続して探す必要があると思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.15	事業名	家庭教育推進事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
314,000	213,600	0	0	0	19,950	193,650

1.事業目的

将来を担う子どもたちの健全育成は、学校・家庭・地域及び子どもに関する関係機関が連携し、すべての教育の基である家庭教育の充実を図り発展させること。

2.事業内容

- ・家庭教育講座  
※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。
- ・青少年問題協議会  
会議年1回、啓発活動

3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)

親子講座や親子がふれあいながら、ともに学習できる機会の提供などの充実を図る。  
 コロナ禍であるため、シリーズ開催ではなく一日講座を多く実施するのも方法の一つであると考え。また、外で行う講座も取り入れ、少しでも多く実施していく必要があると考える。  
 教室に参加した方にアンケートを実施しながら、新たなニーズをつかんでいく。  
 事業や開催時期などが重複しないよう、他の部局と情報を共有しながら連携を密にしていく。  
 いずれにしても、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、状況に応じて事業の可否などを判断していく必要がある。

4.令和4年度の取り組み(事業実績)

○家庭教育講座の受付及び事業展開

- ・理科おもしろ実験講座  
「流れる空気 高く、長く飛ばす紙飛行機を作ろう！」(1回 参加人数22人)  
「流体力学 空高く上がる立体だこを作ろう！」(1回 参加人数32人)  
「目の錯覚 消えるマジックを作ろう！」(1回 参加人数27人)
- ・親子で学ぼう お天気の不思議(1回 参加人数32人)
- ・親子できれいな座り方と歩き方を身に付けよう(2回 1日目参加人数6人、2日目参加人数8人)

○ふれあいまつり2022

- ・大口中学校PTA 千本釣りゲームの実施(参加人数303人)
- ・大口北小学校PTA 親子いすづくり(99組参加)
- ・大口西小学校PTA 輪投げゲーム(参加人数703人)
- ・大口南小学校PTA 千本釣りゲーム(参加人数309人)

○青少年問題協議会

青少年問題協議会で巡回パトロール実施(ヨシツヤ、MEGAドン・キホーテUNY)  
 中学校・保護司と連携して、校外巡視時に啓発チラシ・グッズを配布

<p>5.事業の結果(成果)</p> <p>年度後期の開催の講座となったが、家族で学べる講座を開催することにより、一緒に考え、一緒に作業ができる内容であったため、家族のふれあいの場を設けることができた。参加者からも概ね好評価をいただいている。</p> <p>青少年問題協議会においては、令和2年度、令和3年度は新型コロナ感染拡大防止のため巡回パトロールを中止とし、令和4年度、会議において江南警察署による地域の状況を聞き、令和4年8月26日金曜日に巡回パトロールを行うことができた。</p> <p>令和4年度は、NPO登録団体の活動（父子料理教室）が実施できていない。</p>
<p>6.事業の課題等</p> <p>アンケートでやってほしい講座などを聞いているため、令和5年度に活かせれたらと考える。</p> <p>NPO登録団体の活動（父子料理教室）については、団体と連携を図りながら、事業の展開を図っていきたいと考える。</p>
<p>評価委員 A(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で参加できる講座は、共通の体験を通したふれあいを深めることができ、とてもよい事業だと思う。少しでも多くの人に参加していただけるよう広報活動にも力を入れてほしい。また、事業内容はアンケートの結果等を生かして、新たな講座等工夫できるとよい。</li> <li>・ふれあいまつりに各学校のPTAの方が参加し、ゲーム等でまつりを盛り上げることができてよかった。</li> </ul>
<p>評価委員 B(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の一日講座は、良い事だと思いました。</li> <li>・教室参加した人へのアンケートによる、ニーズをつかむということは良い事だと思います。</li> <li>・ふれあい祭りのゲーム式は大変好評で良かった。</li> <li>・家族で学ぶ講座は、家族のふれあいという事で大変良い講座だと思います。</li> <li>・希望-地域の異年代の人たちと触れ合える講座も考えたら良いのではないのでしょうか。</li> </ul>

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.16	事業名	生涯学習活動推進事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
19,199,000	16,250,226	0	41,600	200,000	0	16,008,626
<b>1.事業目的</b>						
<p>人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興（芸能文化事業）</li> <li>・地域学校協働本部（学校支援地域本部）事業</li> <li>・文化協会支援</li> <li>・二十歳の集い実行委員会支援</li> <li>・リフレッシュリゾート施設利用助成</li> <li>・少年少女発明クラブ支援</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>開かれた学校づくりの一環として、地域住民が学校支援ボランティアとして協力ができるよう、学校地域支援本部は学校が困っていることを把握し、その問題に対応できる学校支援ボランティアを派遣できるように体制を整えていく。</p> <p>文化協会及び各種団体については、コロナ禍でイベントや教室が再開できるように相談に乗りながら事業を進めていく。</p> <p>少年少女発明クラブについては、引き続き支援を図っていく。</p> <p>いずれにしても、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、状況に応じて事業の可否や内容の変更などを判断していく必要がある。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<p>文化協会の事業や地域学校協働本部（学校支援地域本部）事業において、コロナ対策を行ったうえで、コロナ禍以前の活動が徐々に行えるように各事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○芸能文化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>ほほえみコンサート（1回）</li> <li>大人のピアノ発表会（1回）</li> </ul> </li> <li>○二十歳の集い実行委員会支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>二十歳の集い参加者168人参加</li> </ul> </li> <li>○文化協会支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>文化部、芸能部合わせて19団体、207人</li> <li>事業実績（作品展・教室・発表会）60事業</li> </ul> </li> <li>○リフレッシュリゾート施設利用助成 <ul style="list-style-type: none"> <li>助成額1,755,000円</li> <li>（日間賀島203件 昼神温泉216件 共済12件 松江104件 FDA利用60件）</li> </ul> </li> <li>○地域学校協働本部（学校支援地域本部）事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア登録人数 79人</li> <li>・大口中学校（抜粋）</li> <li>「いれあい清掃」：生徒と一緒にプランター及び花壇の植替えや除草などを実施（延べ28回 156人）</li> </ul> </li> </ul>						

「図書館サポート」：推薦図書ポップ作り、本のカバー貼り、本の清掃などの作業を実施  
(延べ18日 120人)

「特別支援学級授業サポート」：ボランティアと学校との打合せ会により授業分担を決め実施  
(延べ263日 343人)

#### 小学校支援

- ・大口南小学校 環境サポート(延べ24回220人)、図書館サポート(延べ14回74人)などを実施。
- ・大口北小学校 環境サポート(延べ34回68人)、図書館サポート(延べ13回80人)などを実施。
- ・大口西小学校 環境サポート(延べ22回101人)、図書館サポート(延べ11回83人)などを実施。

#### 5.事業の結果(成果)

- 文化協会においては、令和2年度及び令和3年度の芸能発表会及び文化祭を中止としたが、令和4年度は新型コロナ感染拡大防止をとりながら実施することができた。下部団体が行う作品展・教室・発表会などについては、令和3年度より23事業増となったが、コロナ禍前に比べると半分以下である。
- 学校支援地域本部については、令和4年度から国の動きを勘案し「地域学校協働本部」と名称を変更した。コロナ禍で、活動自粛が継続したものの、事業の展開は、登録ボランティアや学校関係者の努力によって途切れないように繋いでいけているのが現状である。
- リフレッシュリゾート施設利用助成については、令和3年度から220件増加している。

#### 6.事業の課題等

- 文化協会については、令和5年度は慰問施設での活動や発表会の活動数がコロナ禍前までに近づくことを目標に、協会全体の活動の活性化を進めていく。
- 地域学校協働本部については、今後において、発足当初のコンセプトである「学校を助ける立ち位置ではなく、自らの意思で活動し、子どもを育てることができる活動を学校側に提案していく」ことをボランティア自らからアイデア出しができればと考える。今後も学校支援活動が地域における役割を担っていきけるよう支援を継続していく。
- リフレッシュリゾート施設利用助成は、引き続き、PRをしながら利用を促せればと考える。

#### 評価委員 A(意見等)

- ・地域学校協働本部事業の学校ボランティア登録人数は少しずつ減っているようだが、募集方法や広報活動に工夫を加え、今後も活動が継続できるようにしていきたいと思う。
- ・また、学校支援のあり方については、各学校とよく話し合い、現状にあった効果的な支援活動ができるようにしたい。今後の課題の中に「自らの意思で活動し、子どもを育てることができる活動を学校側に提案していく」とあり、難しいことではあるが理想に向け頑張っていただきたい。

#### 評価委員 B(意見等)

- ・学校地域支援本部-地域で子どもたちを育てる、活動を学校に提案していく、これに期待したいです。
- ・文化協会-コロナ前に戻していただきたいと思います。
- ・少年少女も発明クラブ--「発明・考案」は大変重要であり、これなくして、戦後の日本はあり得なかった程、資源の無い日本にとって「発明・考案」は大切な「資源」であった。  
希望-物作り・科学の実験も良いことだけれど、「発明・考案」の基本である、「創造」する力を身に着けるような、内容の講座・教室を増やす必要があるように思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.17	事業名	生涯学習講座事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
574,000	544,565	0	0	0	2,400	542,165
<b>1.事業目的</b>						
<p>町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設し、個々の教養や技術を習得すること。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期講座 ※主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に随時1講座6回程度開催する。</li> <li>・旬の講座 ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>状況に応じて事業の可否などを判断していく必要があるが、講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、徐々に講座を実施していく。</p> <p>講座内容については、企画する上で、旬な講座も取り入れながら実践に役立つ講座や地域の住民が講師となり活躍できる講座の開設を中心に、参加人数の多寡にとらわれず、様々な方面から情報を模索し、きっかけづくりとなる講座を考える。</p> <p>コロナ禍であるため、シリーズ開催ではなく単発講座を多く実施するのも方法の一つであると考え。また、外で行う講座も取り入れ、少しでも多く実施していく必要がある。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>○姉妹都市提携講座 「来待石彫刻体験講座」（1回 参加人数10人）</li> <li>○生涯学習地域連携講座 「心理学によるストレスとの向き合い方 ～幸福へつなげるストレスの理解と対処～」 （1回 参加人数23人）</li> <li>○青少年のネット安全・安心講座 「みんなのネットモラル塾」（1回 参加人数11人）</li> <li>○高齢者教室～さくら大学～（7回、延べ参加人数179人）</li> </ul>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<p>生涯学習基本構想のキーワード「学びを創る」「学びに集う」「学びをつなぐ」という考え方のもと、「誰でも、いつでも、気軽に学べる」をモットーに、幅広い年齢層の方を対象に様々な学習機会の提供を行った。</p> <p>「みんなのネットモラル塾」については、愛知県社会活動推進課と「心理学によるストレスとの向き合い方」については愛知県生涯学習推進センターと連携して講座を行った。参加人数は少なかったが、今の社会情勢を踏まえて講座を実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止として、講座中に席の間隔をあけることや換気をするなどした。また受付時において、窓口受付だけでなく、往復はがきを使った受付方法をおこない、申込者が密にならないよう対策に努めた。</p>						

## 6.事業の課題等

生涯学習のきっかけづくりとして、今後も色々な講座を企画していきたい。

### 評価委員 A(意見等)

- 講座は新型コロナの感染状況をみながらの開催で難しかったと思うが、工夫して実施していただけた。
- 「みんなのネットモラル塾」は現在の社会情勢からとても必要なものなので、参加人数が少なかったようだが、広報活動にも力を入れて再度実施できたらよいと思う。

### 評価委員 B(意見等)

- 講座--住民が講師となり活躍できる講座を広めたい。希望-漠然と講師募集でなく、具体時に「周刻・踊り・工作・歴史・その他」と提案して講師を集する方法が良いのでは。の中から、ニーズのある講座を開いていく。
- 青少年のネット安全安心講座  
現在、最も問題となり、重要な内容で、犯罪巻き込まれ防止講座であると思うので、学校・その他での開催、親子で一緒に参加する講座、どしどし増やしていきたい講座であると考えます。また、技術の進歩に付いていけない状況により、巻き込まれている子供たちが非常に多いため、是非回数を増やしていくべき講座だと思えます。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.18	事業名	中央公民館管理事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
67,348,000	61,561,453	0	1,699,150	0	521,970	59,340,333
1.事業目的						
<p>町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が気楽に集まり教養や技術を習得することができると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。</p>						
2.事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設の利用者対応</li> <li>• 設備の維持管理</li> </ul> <p>※外注分は協議・契約・履行確認</p>						
3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)						
<p>随時発生する不具合において、その都度迅速に対応していく。また、光熱水費について、経済的な面、環境的な面から節制を心掛けていく。</p> <p>施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、利用の仕方を考えていく必要がある。修繕については、自家発電設備の蓄電池、自動ドアの駆動部分の修繕を中心に実施していく。</p>						
4.令和4年度の取り組み(事業実績)						
修繕（主なもの）						
5月	集会室軒天修繕	183,700円				
10月	玄関自動扉修繕	215,600円				
2月	駐車場区画線修繕 (荷物搬入出スペース、軽自動車専用スペースの区画線設置)	96,800円				
3月	No.1 揚水ポンプ取替修繕	550,000円				
工事						
12月	3階湯沸室のガス瞬間湯沸し器取替工事費	48,000円				
	3階図書館事務室等空調取替工事費 (既設ガス空調の故障による。小型のガス空調は現在製造していないため、電気空調へ変更して取替工事を実施)	1,265,000円				
2月	電話交換機接続工事費（ひかり電話）	82,500円				
	いこい工房水道メーター設置工事費	166,100円				
3月	LAN配管及びコンセント設置工事費（ひかり電話）	99,550円				
	いこい工房電気メーター設置工事費	128,700円				
	いこい工房機器ガス種変更工事費 (都市ガスからLPガスに変更)	80,300円				
	いこい工房都市ガス配管撤去工事費	61,270円				



<p>5.事業の結果(成果)</p> <p>施設老朽化のため突発的な不具合や故障については、都度修繕した。  電気、ガスの高騰により光熱水費負担が大きいため、施設利用者の理解を得ながら節電に努めていく。  ウィズコロナ禍での施設利用を進めるにあたり、備品の消毒、利用者への注意喚起など感染防止対策を講じながら利用促進を進めた。  中央公民館及び図書館の電話をひかり電話に更新した。このことにより、役場や健康文化センターへの外線通話無料や電話番号表示ができるようになった。  コロナ禍使用されていなかった「いこい工房」の有効活用をすすめるにあたり、水道及び電気の子メーターを設置し、いこい工房の電気及び水道使用量の区別化を図った。  水洗トイレの流水量が少なく排水溝が度々詰まるため、流水量を調整した。</p>
<p>6.事業の課題等</p> <p>施設老朽化による突発的な故障等については、都度修繕しながら施設の有効活用を図っていく。  令和5年度の修繕計画としては、集会室2階観客席上部の梁（化粧部分）のひび割れや破片落下が生じたことによる修繕を実施する必要がある。  また、経年劣化によりブレーキに不具合のある防火シャッターの更新工事や屋上にある煙突から真下にある機械室への雨水侵入防止の工事を実施する必要がある。</p>
<p>評価委員 A(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民が安全で快適に利用できるよう、適切に維持管理していただけたと思う。特に安全にかかわる不具合については、今後も迅速な対応をお願いしたい。</li> </ul>
<p>評価委員 B(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設老朽化対策-突発的な不具合・故障・又は、人に危害を及ぼすと思われる修理を優先していただきたい。</li> <li>・ また、各種費用が軽減される対策も随時行ってもらいたいとも考えます。</li> <li>・ 水道・ガス・電気料金の異常な値上げ-節約できる対策も検討したいところです。</li> </ul>

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.19	事業名	町民会館管理事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
26,439,000	25,432,313	0	1,333,250	0	743,858	23,355,205
<b>1.事業目的</b>						
<p>町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、町民が学習成果の発表を行う場や講習等の教養を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支払処理</li> <li>・消耗品等の補充</li> <li>・除草等清掃作業</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>施設の効果的な運用を図るとともに、修理箇所が発生した場合はその都度対応するなどして、適切な維持管理を実施していく。</p> <p>エレベーターは30年以上使用しており、耐用年数が経過している。交換が必要な機器の部品が令和6年3月をもって供給が終了となるため、機器の交換が必要となる。</p> <p>施設の利用については、新型コロナ感染拡大予防に努めながら、都度利用の仕方を考えていく必要がある。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<p>修繕（主なもの）</p> <p>6月 2階南側客溜り排煙窓（1か所）修繕 220,000円 （換気のために開けた排煙窓が閉められなくなったため修繕）</p> <p>12月 2階ホールのステージ脇移動通路修繕 98,890円 （ステージ脇移動通路の支え部分の破損により、ガタつきや傾斜が生じ歩行に支障があるため修繕）</p> <p>2月 2階南側客溜り排煙窓（2か所）修繕 412,500円 （排煙窓の開閉ダイヤルが経年劣化により回しづらくなったため修繕）</p> <p>工事</p> <p>3月 昇降機設備改修工事費 6,160,000円 （竣工以降エレベーターの更新をしておらず、また廃番となる部品があることを考慮し、モーターや基盤、操作ボタンなど必要最低限の機器更新と室内照明のLED化を実施）</p>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<p>30年以上経過しているため経年劣化による修繕、特に水周りの修繕が多くあった。和式トイレの配管からの水漏れ、トイレ手洗い場下部の排水管の錆による水漏れなど、利用者の使い方や経年劣化が原因と思われる修繕を実施した。修繕はその都度進めていく。</p> <p>コロナ禍、換気のため排煙窓を開ける機会の増加により、開閉ダイヤルが重く回しづらい、開閉がうまくいかない等排煙窓の不具合が浮き彫りになった。</p> <p>昨年度から引き続き、中央公民館集会室を新型コロナワクチン接種会場として利用したため一般利用ができないことを鑑み、その代替え場所を町民ホールとし利便性を図った。（卓球台7台を設置）</p>						

## 6.事業の課題等

30年以上経過しているため経年劣化による突発的な不具合等については都度修繕し、施設の有効活用を図っていく。

ホールの舞台照明設備は竣工以降未更新であり、耐用年数及び経年劣化を考慮し機器更新をすすめる必要がある。令和5年度は、舞台照明用ボーターケーブルを、経年劣化による火災が危惧されるため交換工事を実施していく。

排煙窓で不具合のあるものについては、貸室の利用頻度を加味しながら修繕を進めていく。

## 評価委員 A(意見等)

- ・経年劣化による不具合は連続して発生するので、頻繁に対応することになると思うが、しっかり対応していただいているようでありがたい。
- ・安全面の配慮は常に最優先で対応していただけるよう今後もお願いしたい。

## 評価委員 B(意見等)

- ・経年劣化--随時、修理・改善をしたいもの。  
危険な事案・火災発生の可能性のあるような事案・トイレ修理《和風トイレ-洋風に改築》時代に合わせないと利用されなくなってしまう。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.20	事業名	社会体育振興事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
7,497,000	6,271,208	0	314,120	0	30,000	5,927,088
1.事業目的						
<p>町民が暮らしの中に「体育」を取り入れ「健康」と「元気」になれるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。</p>						
2.事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室開催</li> <li>・スポーツ大会開催</li> <li>・体育協会支援</li> </ul>						
3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)						
<p>普段仕事や子育て等でなかなかスポーツに触れ合う機会の少ない世代に対し、生涯スポーツのきっかけとなるようなアプローチを実施していく。</p> <p>教室や行事において、新型コロナ感染拡大予防に努めながら、事業の可否について判断をしていく必要がある。町民体育祭、健康ジョギングなどのイベントについては、過去に中止となっているため、運営方法を見直しながら検討する必要がある。</p> <p>スポーツ教室については、スポーツ推進委員を中心にプロジェクトを組織し、継続的に行っているタグラグビー教室を中心に計画していく。</p> <p>体育協会及びスポーツ少年団については、自立した運営が図れるよう引き続き支援を行っていく。</p>						
4.令和4年度の取り組み(事業実績)						
<p>○講座・教室 タグラグビー教室（1回 参加人数44人）</p> <p>○スポーツ推進委員活動 委員会（委員会11回開催、東海四県プロジェクト、スポーツ教室、町民体育祭、桜並木健康ジョギングなどを運営） 東海四県スポーツ推進委員研究大会（事例発表：「世代を超えたスポーツのまちづくり」 ～知る、観る、そしてプレイ「タグラグビー」～）</p> <p>○スポーツ大会開催 地区別ソフトボール大会（9月4日、11日開催予定が中止） →新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。 地区別対抗グラウンドゴルフ大会（9月17日開催予定が中止） →新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。 スポーツチャレンジ2022（参加人数60人：第1部28人、第2部32人） 愛知万博メモリアル第15回愛知県市町村対抗駅伝競走大会（20人参加） 桜並木健康ジョギング（参加者数306人：5km62人、3km148人、1.8km96人参加）</p> <p>○体育協会・スポーツ少年団事業 体育協会（9団体） 春季町民総合体育大会 大口町・扶桑町親善体育大会 秋季町民総合体育大会</p>						

<p>グラウンドゴルフ大会などを実施  スポーツ少年団（4団体）  全国スポーツ少年団軟式野球交流大会地区大会  体カテスト  愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会などを実施</p>
<p>5.事業の結果(成果)</p> <p>○ 地区別ソフトボール大会及び地区別グラウンドゴルフ大会については、コロナ禍における実施中止に伴う判断基準として基準日に、感染症法における分類一覧「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に緩和されない場合は中止と定め、中止とした。  スポーツチャレンジ2022では、町民体育祭の中止に伴い、個人が参加することができるイベントを実施した。新型コロナ感染拡大防止として、事前に申し込みがあった参加者及び付き添い者のみが会場内に入り、常に消毒などの対策に努めた。</p> <p>○ スポーツ推進委員活動について、スポーツチャレンジやタグラクビー教室を行いつつ、令和4年度は東海四県スポーツ推進委員研究大会で、「世代を超えたスポーツのまちづくり」をテーマに長年実施し続けたタグラクビーを中心に事例発表を行った。事例発表では実演などを用いて、ルールなどわかりやすく説明を行った。</p> <p>○ 体育協会及びスポーツ少年団の運営については、各団との連携を密にとり、円滑な事業となるよう尽力した。</p>
<p>6.事業の課題等</p> <p>体育協会やスポーツ少年団については、今後も各団の自主自立による運営のため、助言などを行っていく。令和5年度は地区別ソフトボール大会、地区別グラウンドゴルフ大会及び町民体育祭において、新型コロナ感染症対策を取りながら実施できる方法を検討していきたい。</p>
<p>評価委員 A(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年度はソフトボールやグラウンドゴルフ等が中止になり残念だったが、5年度は再開できそうで楽しみである。</li> <li>・運動を通して、健康増進や住民同士のふれあいが進み、それが元気の素になると思う。今後も様々なスポーツの機会を提供していただきたい。</li> </ul>
<p>評価委員 B(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段あまりスポーツのできない人へのスポーツのふれあいは大変有意義だと思います。</li> <li>・各種、競技会への参加も増していきたいものです。</li> <li>・地域対抗ソフトボール大会-地区でソフトボール人口が減り、さらに高齢化してきています。無理して頼まれ参加して、怪我をする人がいると聞いています。各地区選抜1チームで、可能であれば、若い人が中心となり、チーム編成すべきではないかと考えます。行政区内での小地区対抗試合が、無理をしているということを実感しています。それが、怪我人が出る原因のようにも思われます。</li> </ul>

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.21	事業名	温水プール管理事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
60,305,000	60,270,864	0	0	0	550,000	59,720,864
<b>1.事業目的</b>						
<p>町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、施設の適正な運営が行われているかの指導・助言を実施していく。また、指定管理者との連携を密にするため、定期的な連絡会議を引き続き実施していく。</p> <p>施設の工事については、循環ダクトが老化しており、入れ替える必要があるため、プールの休館日に合わせて実施していく。その他の修繕については、協議のうえ、施設の改修が必要な箇所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。</p> <p>施設の利用については、新型コロナ感染拡大予防に努めながら、都度利用の仕方を指定管理者と協議しながら考えていく必要がある。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<b>工事</b>						
<p>1月 機械室内循環ダクト更新工事 4,790,500円            (3階機械室内のRAダクト(プール内の空気を吸い上げる)で、経年劣化(錆)により崩落し、その後一時的補強を施した部分を含むRAダクトを交換した)</p> <p>温水プールのネーミングライツ契約 550,000円(令和4年4月～令和5年3月分)            (契約期間 令和3年10月1日～令和8年9月30日 契約金額 2,750,000円)            愛称：オークマ温水プール 愛称の表示場所：プール施設(正面、東側)、案内板</p> <p>指定管理者であるウィル大ロススポーツクラブと定期的に情報共有会議を実施            (指定管理施設の修繕計画や利用人数などの状況報告など)</p>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<p>令和3年8月4日にオークマ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、総合運動場に命名された愛称「オークマ温水プール」を施設名として使用している。(令和3年10月から令和8年9月末まで)。</p> <p>温水プールは、竣工から41年経過し、大規模改修工事から20年経過している。比較的小規模の修繕は都度実施しているが、雨漏りなど費用負担が大きな修繕を進めていく必要がある。</p> <p>「大口町公の施設指定者審議会」の中間評価では、指定管理者であるウィル大ロススポーツクラブは、「公の施設の効用が十分に発揮された概ね良好な施設管理・運営がされている」と評価された。</p> <p>ウィル大ロススポーツクラブと連携を密にし、各施設において新型コロナ対策を徹底しながら運用を図った。</p>						

## 6.事業の課題等

温水プールについて、施設の活用を今後どうしていくかをウィル大口スポーツクラブと協議し、修繕計画の可視化を進めていく。

わかしゃち国体記念運動公園のトイレは、平成30年度に下水道の供用開始をしているが未接続のため、下水道工事を実施する必要がある。

指定管理者であるウィル大口スポーツクラブの動向を今後も注視していく。

## 評価委員 A(意見等)

- ・指定管理者のウィル大口スポーツクラブと今後も連携を密にし、温水プールの有効な活用を進めていただきたい。
- ・老朽化で今後の動向が気になるが、温水プールは大変魅力的な施設で、多くの子どもたちの泳力向上や健康増進にも役立っている。今後も継続して利用できるような方向で検討していただきたい。

## 評価委員 B(意見等)

- ・機会室内循環ダクト工事は、実施が必要だと考えます。
- ・愛称--例ですが、「オークマ温水プール」--違和感があります。  
どこの市町村でもそうだけれど、知らない人が見れば、あたかも「オークマ」の所有物と錯覚するような愛称です。  
希望--表示の変更はできないのか。  
愛称例「オークマ温水プール 小文字表示 (ネーミングライツ契約)」  
その他考えられないだろうか。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.22	事業名	グラウンド等管理事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
44,260,000	42,978,267	0	0	0	1,200,000	41,778,267
<b>1.事業目的</b>						
<p>町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理委託した施設の町負担分支払</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>管理運営が指定管理者に委ねられている施設について、指定管理者が適切な管理に努めるよう指導・助言をしていく。また、経費抑制や適正な管理ができるよう協議を続ける。</p> <p>施設の利用については、新型コロナ感染拡大予防に努めながら、利用の仕方を指定管理者と協議しながら考えていく必要がある。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<p>委託</p> <p>2月 グラウンド注意看板設置委託 191,400円                      (わかしゃち国体記念運動公園(駐車場出入口付近2か所に設置)及び河北グラウンド(駐車場出入口付近1か所に設置))</p> <p>総合運動場のネーミングライツ契約 600,000円(令和4年4月～令和5年3月分)                      (契約期間 令和3年10月1日～令和8年9月30日 契約金額 3,000,000円)                      愛称：オークマグラウンド 愛称の表示場所：正門、管理棟、A面スタンド、案内板</p>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<p>わかしゃち国体記念運動公園のナイター設備の令和4年度の使用状況は、一般利用として240件8,418人(件数の前年比1.58)、ウィル大口スポーツクラブ自主事業として431件24,737人(件数の前年比1.54)の利用があった。</p> <p>令和3年8月4日にオークマ株式会社とネーミングライツ契約を締結し、総合運動場に命名された愛称「オークマグラウンド」を施設名として使用している。(令和3年10月から令和8年9月末まで)。</p> <p>ウィル大口スポーツクラブと連携を密にし、各施設において新型コロナ対策を徹底しながら運用を図った。</p> <p>オークマグラウンド北側の「花見橋」建築工事期間中、新田橋から平和橋間の尾北自然歩道の一部を通行止めとしたことに伴い、オークマグラウンド外周の一部を、一時的に区画して尾北自然歩道のう回路とした。</p> <p>わかしゃち国体記念運動公園駐車場の放置車両について、昨年度提訴した車両所有者との裁判は、令和4年6月9日に和解が成立し、その席上で和解金を受領した。</p>						
<b>6.事業の課題等</b>						
<p>施設の利用は、指定管理者と協議しながら施設運営を図る必要がある。</p>						



評価委員 A（意見等）

- ・今後も指定管理者と連携を密にして進めていただきたい。合わせて利用者や周辺住民の声も拾い上げ、活用方法等に活かしてもらいたい。

評価委員 B（意見等）

- ・グランド管理-管理委託の施設の町負担分支払い減額・縮小はできないものか。
- ・愛称-先に同じ。
- ・わかしゃち国体記念公園駐車場・車放置-裁判で和解できたということは良かった。これからは、無断放置されないような手段を考えていただきたい。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.23	事業名	野外活動施設管理事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
7,109,000	6,435,466	0	0	0	0	6,435,466
1.事業目的						
<p>町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。</p>						
2.事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認</li> <li>・支払処理</li> <li>・消耗品等の補充</li> </ul>						
3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)						
<p>施設が老朽化しているため、修繕などで対応していくか、点検で撤去推奨判定の遊具については、撤去などの措置を行っていく。</p> <p>日常管理を委託している地元の有志団体の構成員が高齢化しているため、相談しながら継続して管理ができる方法を検討していく。</p> <p>今後の施設のあり方については、引き続き方向性を検討していく。</p> <p>施設の利用については、新型コロナウイルス感染拡大予防に努めながら、利用の仕方を考えていく必要がある。</p>						
4.令和4年度の取り組み(事業実績)						
<p>アスレチック遊具の安全点検を年1回実施した。</p> <p>修繕（主なもの）</p> <p>11月 ふれあいの森案内標識撤去修繕 77,000円 （県道小口岩倉線から白山ふれあいの森へ向かう町道の入口付近に設置の「ふれあいの森」案内標識の支柱根本部分に腐食が見られたため支柱の切断撤去）</p> <p>2月 管理棟1階男子トイレ壁タイル修繕 121,000円 （トイレ壁面のタイルの一部が剥がれ落ちたり、浮いていたりしたため修繕）</p> <p>工事</p> <p>3月 アスレチック場遊具設置工事費 2,838,000円 （遊具名「連続渡り」 支柱は金属だが、歩く部分は国内産木材を使用した遊具）</p>						
5.事業の結果(成果)						
<p>新設アスレチック遊具として、ロープなどで繋がれた不安定な丸太の上を渡る遊具「連続渡り」を新設した。</p> <p>アスレチック遊具の定期点検を年1回実施し、遊具の安全性を確保しており、本年度の点検結果では修繕や撤去の判定はなかった。</p> <p>日常管理を委託している地元の有志団体「白山ふれあいの森くらぶ」により施設内のトイレ清掃や草取りなどの業務や施設の開閉錠を実施しているが、構成員の高齢化が進み、委託内容のうち低木樹木の剪定など体力的に請負困難なものがでてきた。</p>						

## 6.事業の課題等

アスレチック遊具の増設は、施設の在り方について検討しながら進めていく。  
施設の維持管理については、アスレチック場、キャンプ場の利用状況等を考慮しながら施設そのものの在り方を検討していく必要がある。

### 評価委員 A (意見等)

- 遊具等の安全面においては、常に厳しい目で判断して素早い対応が必要である。
- 大口町としては、貴重な施設であり、より利用しやすい環境整備に努めてほしい。
- 有志団体への日常管理委託は、今後のことを考えると難しい面がある。他によい方法を検討していく必要がある。

### 評価委員 B(意見等)

- 白山ふれあいの森--日常管理委託--地元有志団体-高齢化問題-継続・検討していただきたいと思います。
- 遊具の点検、修理は重要であると思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート（歴民）

No.24	事業名	文化財保護事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国庫支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
1,411,000	1,402,473	0	0	0	7,500	1,394,973
<b>1.事業目的</b>						
郷土に遺る貴重な文化遺産の保存に努め、積極的に活用することにより次世代へ継承する。						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定文化財の保存と活用</li> <li>・新規に指定可能な文化財の調査</li> <li>・町の歴史に係る調査及び研究</li> <li>・埋蔵文化財の保護と開発に係る調査</li> <li>・伝統芸能の継承と普及</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>指定、未指定に関わらず、町内に遺る文化遺産等について、専門家や地域住民の協力を得ながら調査を進め、その成果を町民に還元する。</p> <p>毎年4月及び10月に開催する伝統芸能発表会及び大口北小学校で実施している各地区の保存会と児童の交流事業を開催し、発表及び次世代へ継承する場を設ける。特に秋の伝統芸能発表会は、令和2及び3年度に実施できなかったが、地域と連携し、多世代が集う憩い広場での新しいイベントを開催する。また、各地区の活動状況を把握しながら、保存会の維持発展に寄与する。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<p>町内に遺る文化遺産について、町内で活動する各種団体と連携しながら調査を進めた。町内の文化遺産に関する講演会及び現地解説は、令和2年度と比べると依頼が徐々に復活し、感染症予防対策を講じつつ実施することができた。</p> <p>しかし、今年度も伝統芸能発表会は春及び秋ともに中止となった。そのような中、北小学校連携事業「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」は、感染症予防対策を講じた上で、各保存会それぞれ別の日に実施することができた。</p>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<p>今年度はコロナ禍前まで活動は復活しないものの、昨年度の状況から徐々に好転し、感染症予防対策を講じつつ、文化遺産に係る講演会及び現地解説の依頼を受けるようになった。それと併せて感染状況に左右されない範囲で各団体とともに文化遺産の調査も行うことができた。</p> <p>伝統芸能については、感染症予防対策を講じつつ、北小学校の「ふるさと大口・お祭りたいけんひろば」は開催することができた。</p>						
<b>6.事業の課題等</b>						
<p>伝統芸能発表会は昨年度に引き続き春・夏ともに中止となり、各保存会の伝統芸能を披露する場を提供することができなかった。来年度こそ伝統芸能発表会を開催できるよう、準備を進めていきたい。</p>						

評価委員 A(意見等)

- 伝統芸能発表会は新型コロナの感染拡大により、3年間中止だった。5年度には復活できそうだが、少しでも多くの人に参加していただけるよう開催地区とも協力して進める必要がある。
- 北小学校の「ふるさと・お祭りたいけんひろば」は、子どもたちに伝統芸能に触れる機会をもたせることができ、よい事業である。
- こうした伝統芸能を今後も引き継いでいくためには、他にも新たな工夫をすることが必要である。保存会と協力して、対応を検討していただきたい。

評価委員 B(意見等)

- これからも、伝統芸能発表の開催をしてほしい。
- 北小学校連携事業「ふるさと大町・お祭りたいけんひろば」の実施を、他の小学校にもぜひ、展開してもらいたいものである。
- 町内文化遺産に関する講演会、現地解説は重要であり、進めてもらいたいと思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.25	事業名	歴史民俗資料館運営事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
12,215,000	11,924,188	0	0	0	11,700	11,912,488
<b>1.事業目的</b>						
<p>先人の培ってきた過去の営みを現在に伝えるため、郷土「おおぐち」に関する事柄や美術分野等の展示を実施することにより、町民の知的欲求に応える。また、小中学校の見学受入れや資料貸出等により、学校教育に寄与する。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回の企画展開催</li> <li>・常設展示室の管理</li> <li>・展示解説及びそれに係る調査研究</li> <li>・文化財収蔵庫の管理</li> <li>・収蔵品管理及び活用</li> <li>・学校授業による見学受入れ</li> <li>・博物館実習生の受入れ</li> <li>・年報、展示図録等の発行</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>定例化した春及び冬の企画展は、新しい生活様式に対応した方法を検討しつつ、来館者の安全を確保した上で実施する。夏及び秋の企画展は、町制60周年や姉妹都市・松江を知っていただく機会を創出するテーマを中心に実施する。</p> <p>文化財収蔵庫及び収蔵品の活用は、年1回の施設開放及び月1回の「オレンジカフェ・大口」への資料貸与を引き続き実施し、教育及び福祉関係機関と連携を深める。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<p>昨年度に引き続き、感染症予防対策を講じた上で年4回の企画展を実施した。春及び冬の企画展は、「端午の節句」、「ひなまつり」を開催したが、甲冑、陣羽織、お内裏様及びお雛様の衣装を着て写真撮影ができるコーナーは中止とし、代わりに五月人形の顔出しパネルや雛人形の大階段を設置した。夏の企画展は、姉妹都市である島根県松江市の伝統工芸品「出雲民藝紙」に関する展示を行い、秋の企画展は、町制60周年記念企画展として、町の60年のあゆみについて開催した。</p> <p>文化財収蔵庫の収蔵品活用について、今年度は「ふれあいまつり」における収蔵庫開放を再開できた。また、大口町社会福祉協議会との連携事業「オレンジカフェ・大口」は一時再開し、小学校3年生が対象の「むかしのどうぐ」の授業は、資料館及び収蔵庫の見学、もしくは学校へ館蔵品を持ち込む出張授業と各学校依頼内容の違いはあったものの実施することができた。</p>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<p>今年度は臨時休館が無く、通年で開館することができ、感染症予防対策を講じつつも資料館活動を推進することができた。また、年4回の企画展では、姉妹都市松江市の伝統工芸品や、町制60周年に関する展示を実施し、好評を得ることができた。</p>						

## 6.事業の課題等

春及び冬の企画展について、過去に好評であった春及び冬の衣装を着て写真撮影ができるコーナーや、ワークショップなど対面で行うイベントについては実施せず、なるべく人と人が距離を確保できるものに変更したため、次年度以降は徐々に復活させていきたい。

文化財収蔵庫の収蔵品活用についても、今年度は徐々に復活しつつあるため、次年度以降もさらに取り組みを推進できるよう努めていきたい。

## 評価委員 A(意見等)

- ・春と秋の企画展に姉妹都市松江市の伝統工芸品や大口町の60年のあゆみを展示できてよかった。
- ・企画展で好評であった衣装を着ての写真撮影が、5年度には復活できそうで楽しみである。
- ・小学校3年生の「むかしのどうぐ」の授業では、見学したり、学校へ館蔵品を持ち込んだりするなど、工夫して実施できたことがよかった。

## 評価委員 B(意見等)

- ・小中学校への資料の貸し出し、見学を増やし、過去と現在の違い、また、過去の資料から、現在へ進歩したなどの経過の勉強。また、できるのであれば、資料を使い実体験できるとさらに良いと思います。
- ・収蔵庫の開放・学校等の見学を増やすといいのではないかと思います。
- ・企画展、ワークショップ等で、興味を持ってもらうことは大切だと思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.26	事業名	歴史文化教育事業			課名	生涯学習課
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
—	—					
<b>1.事業目的</b>						
町内の歴史及び文化を、様々な団体と連携しながら次世代へ継承することにより、町民が郷土を愛し、町の魅力として誇りを持てるまちづくりを推進する。						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園との連携事業</li> <li>・ 小中学校における郷土学習</li> <li>・ 地域自治組織との連携事業</li> <li>・ 町内各種団体との連携事業</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>各保育園及び各地域自治組織との連携事業、町内の小学校6年生及び中学校2年生を対象とした「松江開府の祖 堀尾吉晴公」をはじめ、他学年の「ふるさと大町」に関する授業を継続して実施。機会があれば様々な団体と連携し、本事業を幅広く展開する。昨年度はイベントが開催できない分、冊子作成等、記録を残す連携事業が多かったため、今年度はそれらの記録類を活用できるようなイベントを開催する。</p> <p>また、小中学校の郷土学習での講話や資料提供等、可能な支援を提案し、重点的に連携を推進する。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<p>保育園及び小中学校については、感染症予防対策を講じつつ昨年度同様様々な依頼をいただき、実施することができた。感染症予防対策を講じつつ、保育園は南保計5回、西保計5回、北保計4回にわたり「郷土を愛する心を育む活動」を実施し、小中学校は「郷土の偉人 堀尾吉晴公」をはじめ、各種授業の連携を進めた。地域自治組織は、中地域自治組織のアドバイザーの依頼を受け、冊子「大町中地域の変遷」を作成し、南地域自治組織の「南地域まちづくりかわら版」への寄稿を行った。</p> <p>この他、今年度より講演及び現地見学等の依頼があり、約4年ぶりに実施することができた。</p>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<p>保育園及び小中学校は、昨年度に引き続き、ほぼ当初の計画どおり実施することができた。町内の各種団体との連携は昨年度全く依頼が無かった、もしくは計画していたものの中止となったが、今年度より依頼を受け、実施することができた。</p>						
<b>6.事業の課題等</b>						
<p>町内の各種団体については、次年度よりコロナ禍前の活動が復活していくと考えられるので、こちらも提案を積極的に行いつつ、依頼が増えることを期待したい。</p>						



評価委員 A(意見等)

- 各学校・保育園、各自治組織、各行政区等と連携し、授業、講演、冊子づくりと精力的に活動を続けられ町民が郷土について知ることができる一助となっている。
- 郷土について知ることが愛着にもつながってくると思うので、今後も関係団体とともに、地域の歴史を掘り起こし、引き継いでいけるよう取り組みを進めていただきたい。

評価委員 B(意見等)

- 堀尾吉晴公・金助とその母---顕彰会及び各種団体と連携して次世代に承継していただくことは、郷土愛に繋がるので大変意義あることだと思います。
- 希望--「小口城」についても、もっと町民、町外の人々に広く知ってもらえるようにしたいものだと思います。町内では、あまり知られていないという、小口城の歴史を、皆さんに知ってもらおうということは重要なことだと思います。
- 他にある歴史、文化遺産も、小中学生等に知ってもらいたい。それが、郷土愛に繋がっていくと思う。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.27	事業名	図書館運営事業			課名	図書館
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
36,792,000	36,285,099	0	0	0	121,080	36,164,019
<b>1.事業目的</b>						
<p>時代や利用者のニーズを的確に把握して、利用者に対して必要な図書や資料の提供に努め、利用者の増加を図る。積極的に図書館から利用者へ新たな本との出会いの場を創出し、図書館サービスの向上を図る。幼いころから本に身近に触れ、本に親しむ習慣を育み、読書活動の推進に努める。郷土資料を“文化財”として守り、後世に伝える。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図書館の調査及び統計に関すること</li> <li>• 図書館の広報に関すること</li> <li>• 図書館年報の作成</li> <li>• 図書資料の貸出・返却に関すること</li> <li>• レファレンス(参考調査)に関すること</li> <li>• 図書館資料の選書に関すること</li> <li>• 郷土資料の収集・保存等に関すること</li> <li>• 読書活動の推進に関すること</li> <li>• おはなし会・上映会等のイベント開催に関すること</li> <li>• 図書館資料の分類・整理及び目録作成・保管に関すること</li> </ul>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 令和4年度に図書館システムの機器更新を予定しており、スマートフォン対応など、利便性の向上が見込まれる。新型コロナウイルス感染症により一変した利用状況下、新しい生活様式に順応できるようICT技術を部分的に活用して利用者の満足度の向上を図る。</li> <li>• 子ども達の教育の基となる「国語力・読解力」向上に資する事業として、NPO法人「子どもと文化の森」と協働で子供の読書推進事業を実施する。また、平成27年から開始した「憩いの四季・図書館まつり」は、事業の見直しをして、町のふれあいまつりと併せて実施することで利用者（大人・子ども）の増加を目指す。</li> <li>• 図書館の根幹をなす「図書の選書」については、利用者により興味を持ってもらえるように本の売上ランキングや本屋の陳列図書なども参考にしながら、利用者ニーズの把握に努める。</li> </ul>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 図書館システムの機器更新時を行い、新しい生活様式に順応できるよう来館しなくてもインターネットを利用した新しいサービスをできるように改善した。</li> <li>• 子どもの読書推進事業では、子ども達の教育の基となる「国語力・読解力」向上に資する事業や小さいころから本に興味をもってもらえる事業を行った。</li> <li>• 利用率が低い10代に興味を持ってもらえるよう、本の選書やリクエスト箱など新たな取組をした。</li> </ul>						

## 5.事業の結果(成果)

- ・図書館システムの機器更新に伴い、インターネットを利用して予約者へのメール連絡や貸出延長、予約取消など来館しなくてもできる機能を増やし利便性の向上をはかった。また、対面での接触を減らし、子どもたちの自主性を伸ばすためにセルフ貸出機を2台導入した。
- ・3年ぶりの対面でのふれあいまつりと併せて初めて開催した図書館まつりは名古屋経済大学と協働してペープサートや人形劇を行った。事前予約制で人数制限をしながらの開催だったが多くの親子に絵本の楽しさを伝えることができた。
- ・令和5年3月4日に子どもの読書推進事業として、絵本でビンゴを開催し、ゲーム感覚でたくさんの本を子どもたちに探してもらい読んでもらうことで本の楽しさや探求心を養い、図書館の面白さを伝えることができた。
- ・利用率が低い10代に興味を持ってもらえるよう児童室と学習スペースにリクエスト箱を置きできるだけ要望に応えられるよう本を購入した。また、子どもたち自身が薦める図書館本のコーナーをつくり、他の人にも読んでもらえるように紹介した「おすすめ図書館本の紹介」コーナーの本は常に貸出中の状態で、大変好評だった。

## 6.事業の課題等

- ・子どもの読書推進事業として、名古屋経済大学と協働して図書館まつりを行ったが、コロナウイルス感染症の影響で人数制限を行わなければならない、希望者すべての方に入場していただけなかったことが残念だった。また、もう一つのイベントの「絵本でビンゴ」についても、コロナ感染拡大の影響で何度も日程変更をしなければならず、3月4日という年度ギリギリでの開催となり、イベント開催日の日程変更時の広報活動の難しさが課題となった。

## 評価委員 A(意見等)

- ・システムの機器更新に伴い、インターネットを利用し利便性の向上が進められたのは、とてもよかった。今後もさらなる利便性の向上を図り、利用者の拡大につなげたいものだ。
- ・「リクエスト箱」や「おすすめ図書館本の紹介コーナー」の設置等の工夫により、子どもたちの興味関心を一層引き出し、利用率の低い10代の図書館利用にもつながっていると思う。
- ・子ども読書推進事業として行われた「絵本でビンゴ」は、ゲーム感覚で本に触れさせることにより、図書館の面白さに気づくことができたと思う。こうした企画は今後も計画していただきたい。

## 評価委員 B(意見等)

- ・ICT技術の部分活用で、利用者の満足度向上がはかれたことは良い事であった。
- ・図書館まつりは大変良い事だと思い、継続して行っていただきたいです。
- ・「絵本でビンゴ」ゲーム感覚で、本の楽しさ、図書館の面白さが伝えられたということは大変意義があることだと思いました。また、利用者の少ない世代に興味を持ってもらえるように、児童室、学習スペースにリクエスト箱を設置、要望にこたえられる本を購入、良い工夫だと思います。

令和5年度（令和4年度事業）外部評価点検シート

No.28	事業名	町史編さん事業			課名	町史編さん室
予算額	決算額	左の財源内訳				
		国県支出金	使用料等	繰入金	地方債・その他	一般財源
8,463,000	8,195,735	0	0	50,000	0	8,145,735
<b>1.事業目的</b>						
<p>町民の協力を得ながら、「先人の暮らし—郷土の歴史と民俗」を調査・研究し、詳細な記録保存をして子孫に伝え残すとともに、郷土史の研究に資することを目的とする。</p>						
<b>2.事業内容</b>						
<p>令和4年度末に、戦後から平成末・令和初めまでを中心とした『大口町史～現代史編～』を刊行し、併せて町のホームページにアップする。</p> <p>①完成に向けて ・原稿の編集と校正（監修打合せ） ・編集委員会の開催                  ②完成作業 ・印刷製本業務 ・ホームページへのアップ                  ③資料保存 ・本文作成に用いた資料の紙ベースでの整理と保存                  ・収集資料の整理 ・すべての資料と書類の引継ぎ</p>						
<b>3.令和4年度の事業目標(前年度からの改善点を含む)</b>						
<p>①村政・町政について、監修の助言により原稿の修正と、それに併せて項目の見直しによる新規項目の追加もあって、原稿の作成に時間がかかっている。また、すべての原稿について、典拠文献と統計資料の出典を明確にすること、西暦を主とし和暦の使用を最低限にすることも併せて指導があり、予定以上に原稿作成に時間がかかっている。</p> <p>②編ごとに精査して完成させることに固執したため、第1編に時間をかけすぎた。監修の指示により、令和3年11月以降は、編に関係なく節ごとに校正委託者と監修に原稿の確認をしていただいている。</p> <p>③印刷データ作成委託業務（版下作成業務）は、刊行を1年伸ばすことになったことから、フォーマットの作成・地図・図面の作成・初稿の出力ができた量をもって令和3年度末に一旦清算し、令和4年度当初に残りの作業分の契約をする。</p> <p>●編さん事業の完了                  監修の指導・助言に従いながら、当初からの目標である親しみやすい町史（町史をきっかけに、懐かしい出来事を思い出してもらう。家族で話題にできる。調べ学習に活用できる。）に仕上げていく。</p>						
<b>4.令和4年度の取り組み(事業実績)</b>						
<p>令和4年度は原稿執筆及び典拠文献と統計資料の出典を明確にする作業を実施した。</p>						
<b>5.事業の結果(成果)</b>						
<p>令和5年1月より典拠文献及び統計資料の出典を明確にする作業を実施した結果、本文記載の事実確認ができたため、より正確性を担保した原稿となった。</p>						

## 6.事業の課題等

令和4年度の業務を進めていたものの、予定通りの進捗とならず、令和5年1月に改めて業務の進捗及び記載内容の確認等、見直しを実施した結果、今年度中に刊行することは非常に難しいと判断し、刊行を令和5年12月に再度延長することとした。

### 評価委員 A(意見等)

- ・慎重に校正や原稿の修正を進められたことにより刊行が当初の予定より遅れたことは、作業の大変さからも致し方ないことである。
- ・親しみやすい町史という目標で作成された町史がどんなものになるのか、コラムの内容も含め、刊行されるのがとても楽しみである。

### 評価委員 B(意見等)

- ・親しみやすい町史は、大変良いと思います。つまらぬ町史では、読んでもらえないと思われるので。
- ・町史をきっかけにして、懐かしい出来事、思い出等を家族で話題にし、調べ、また学習に利用していただくと良いと思います。
- ・典拠文献、統計資料の出典を明確にし、本文記載の事実確認ができた為、正確性を担保した内容になったということは大変良い事である。
- ・正確なことが最も重要であり、期間延長はやむを得ないと思います。